欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコ	アシー		実施設計段階						
配慮	項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
			境品質						4.4
	室内					0.36		-	4.2
1,	音環均		7		4.0	0.15	•	-	4.0
-			経音レベル	目標とする騒音レペル45dB(A)	4.0	0.40 0.40	•	-	
	1.2	遮音 1	開口部遮音性能	開口部遮音性能:T-2	5.0	0.40	•		
		2	界壁遮音性能		3.0	0.40		_	
		3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-	
		4	界床遮音性能(重量衝擊源)			-	3.0	-	
	1.3	吸音		床(タイルカーペット)、天井(岩綿吸音板)の二面に吸音材を使用	4.0	0.20	-	-	
2	温熱理	景境			4.1	0.35	•	-	4.1
	2.1	室温制			3.2	0.50	•	-	
		1	室温		3.0	0.38	-	-	
		2	外皮性能	外壁:U=0.7W/mੈK、窓システム:SC=0.5、U=4.0W/mੈK	4.0	0.25		-	
-		3	ゾーン別制御性	加沢機能 吟沢機能さました。450、550の沢麻さ中田ナスニルギ	3.0	0.38		-	
	2.2	湿度制	川御	加湿機能·除湿機能を有し、かつ45%~55%の湿度を実現することが可能な設備容量を確保。	5.0	0.20	-	-	
-	2.3	空調力	式	京の出し方式の採用	5.0	0.30		_	
3	光·視		, - 4		4.1	0.25		-	4.1
		昼光和	川用		3.6	0.43		-	
		1	昼光率	昼光率≥2.0%	4.0	0.60		-	
		2	方位別開口			-		-	
		3	昼光利用設備		3.0	0.40		-	
	3.2	グレア			-	-	•	-	
			昼光制御		-	-	•	-	
		照度		750lx 一作業単位で照明制御ができ、かつ、人感センサーによる自動照明制	4.0	0.21		-	
	3.4	照明制	川御	一作業単位で照明制御かでき、かつ、人感でクサーlこよる自動照明制御が可能。	5.0	0.36	-	-	
4	空気管	貫環境			4.7	0.25		-	4.7
Ī		発生源	京対策		5.0	0.50	-	-	
		1	化学汚染物質	建築材料は、告示対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほ	5.0	1.00			
		'	11.子污笨物貝	ぼ全面的に採用し、低VOCの建材も採用している。				-	
	4.2	換気	115		4.0	0.30	-	-	
			換気量	中央管理方式の空調設備の場合で30m3/h人以上を確保。	4.0	0.33		-	
		2	自然換気性能	空气取けるものは天沙道の無い大点に記案されていて かつ は気	3.0	0.33		-	
		3	取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は汚染源の無い方向に設置されていて、かつ、排気 口と異方位かつ離隔距離6m以上の位置に設置している。	5.0	0.33		-	
-	4.3	運用管	理		5.0	0.20		_	
			CO₂の監視		-	_		_	
		2	喫煙の制御	建物内全館禁煙が確認されており、屋外に喫煙コーナーは設けない。	5.0	1.00		_	
Q2	サート	ビス性			_	0.30	-	-	4.3
	機能性				4.0	0.40		-	4.0
			・使いやすさ		3.3	0.40	-	-	
		1	広さ・収納性		3.0	0.33		-	
		2	高度情報通信設備対応	OAコンセント容量:40VA/m ³ 以上	4.0	0.33		-	
		3	バリアフリー計画		3.0	0.33		-	
	1.2	心理性	上•快適性		4.6	0.30	-	-	
		1	広さ感・景観	天井高4.0m、屋外の情報を得られる窓の設置	5.0	0.33		-	
		2	リフレッシュスペース	執務室面積の1%以上のリフレッシュスペースを確保 オフィスは照明の光源色を温白色とし、また間接照明を採用して作	4.0	0.33		-	
		3	内装計画	オフィスは照明の元源巴を温日巴とし、また间接照明を採用して作 業性と快適性を兼ね備えたオフィスに適した照明計画としている。	5.0	0.33		-	
	1.3	維持管	理		4.5	0.30	•	-	
		1	維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上材の採用、外部に露出する金属部材への防錆対		0.50			
				策(アルミ部材の採用等)					
	E 4 07 4	2	維持管理用機能の確保	専用の清掃流しの設置、排水経路は下水道に接続。	4.0	0.50		-	4.5
2		生・信頼			4.5	0.30	*	-	4.5
	2.1		免震・制震・制振	最大層間変形角1/150以下	5.0 5.0	0.50	·	-	
		2	耐震性(建物のこわれにくさ) 免震・制震・制振性能	最大層面変形用1/150以下 免振装置を導入	5.0 5.0	0.80	· ·		
	22		兄辰・利辰・利振性能 部材の耐用年数	70550公正に守八	3.8	0.20			
		1	躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2仕様相当	4.0	0.30		_	
		2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		_	
		3		オフィス:床タイルカーペットt6.5(OAフロアーh260)、壁EP-2(PBt12.5+12.5)、天	5.0	0.10			
				井岩綿吸音板t12(GB-Rt12.5)					
		4	空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトはガルバニュウム鋼板を採用。	5.0	0.10		-	
		5		給水VLP(B)、排水VP(B)、冷温水SGP(D)、Eは不使用。	5.0	0.20		-	
		6 =========	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
	2.4	信頼性	E 空調・換気設備	執酒種の二重化及び早和答の採田笙	4.6 5.0	0.20 0.20	•	-	
		2	空調・換気設備 給排水・衛生設備	熱源種の二重化及び吊配管の採用等 災害時の排水貯留槽を計画している	5.0 4.0	0.20			
			電気設備	非常用発電機及び無停電電源装置の設置、浸水対策の実施	4.0	0.20		_	
		4	機械·配管支持方法	耐震クラス:Sクラス	5.0	0.20	-	-	
			通信·情報設備	通信手段の多様化、浸水対策の実施、UPSの設置	5.0	0.20		-	
3		生・更新			4.4	0.30	•	-	4.4
	3.1	空間の	, · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	亚 	4.1	0.30	-	-	
		1	階高のゆとり	平均階高: 5.24m	4.1	0.60		-	
-	2.0		空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.1以上0.3未満 4,500M/㎡以上	4.0 5.0	0.40		-	
	3.2	荷重0.	バヤーツ	4,000M/ III 以上	5.0	0.30	•	-	

				•					
	3.3	設備の)更新性	tooght of Engage Lill III I Like the state of the state o	4.4	0.40	•	-	
		1	空調配管の更新性	ISS階の設置により、仕上材を傷めず更新・修繕が可能 ユニット配管の採用により、構造部材及び仕上材を傷めず修繕・更	5.0	0.20		-	
		2	給排水管の更新性	ユーツト町官の休用により、博旦部や及び江上やで勝めり修繕・更 新が可能	5.0	0.20		-	
		_	電気型的の電影器	ラック配線・OAフロアー内配線等により構造部材及び仕上材を痛めず更	5 0	0.10			
		3	電気配線の更新性	新・修繕が可能	5.0	0.10		-	
		4	通信配線の更新性	バスダクト・配管配線等により仕上材を痛めず更新・修繕が可能	5.0	0.10		-	
		5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
		6	バックアップスペースの確保	バックアップスペースの確保	4.0	0.20		-	
Q3	室外	環境()	敗地内)		_	0.34	-	-	4.8
1	生物類	環境の個	呆全と創出	敷地周辺を含む生物環境を把握し、それに基づく生物環境の保全と 創出計画を示した資料を作成している。敷地内にある既存樹の保全 を行っている。外構緑化指数:20%以上。		0.30	-	-	5.0
2	まちな	み・景	観への配慮	外装をがうス素材の使用によりまちなみの調和に配慮した。緑地による良好な景観を形成している。既存樹を保存し、地域景観の継承に配慮している。周辺の主要な眺望点からの良好な景観形成への取組みがある。	5.0	0.40		-	5.0
3	地域性	生・アメ	ニティへの配慮		4.5	0.30	•	-	4.5
	3.1	地域性	生への配慮、快適性の向上	東側に底等を設けて、待合わせに供する等都市空間の活動上のア メニティに貢献している。地域に無償提供される施設計画があり、地 域の活動に貢献している。建物内外を連関させる豊かな中間領域を 形成している。	5.0	0.50		-	
		,,,,	引温熱環境の向上	敷地内へ風を導く建築物の配置・形状計画である。空地率:40%以上、60%未満。中高木等水平投影面積率:10%以上。	4.0	0.50	-	-	2.0
			環境負荷低減性			-		-	3.8
		レギー	M A # IMAII	DDI — 0.70	-	0.40	-	-	3.7
			<u>熟負荷抑制</u> ご一利用	BPI=0.72 自然エネルギー直接利用量9.6MJ/年・㎡	5.0	0.11	-	-	5.0
			「一利用		4.0	0.11	-	-	4.0
			の高効率化	BEI=非住宅 0.81 住宅(専用部) —	2.9	0.56		<u> </u>	2.9
4	効率的		- 古いはの部体		5.0	0.22		-	5.0
			主宅以外の評価 エニカリンダ	熱酒 梅生 昭明五代会化のシフェノ 熱支証体 送す色	5.0	1.00		-	
			モニタリング 運用管理体制	熟源、換気、照明及び給水のシステム効率評価が可能。 設備性能検証(コミッショニング)が計画されている。	5.0 5.0	0.50 0.50		-	
			連用官理体制 宅の評価	DX	J.U	-		_	
			モニタリング						
			運用管理体制						
I Da	咨语.	・マテリ				0.30	-		4.2
	水資源				3.4	0.20			3.4
<u>'</u> '		以休設 節水		節水コマ及び自動水栓に加えて節水型便器を採用。	4.0	0.20			3.4
			 川用・雑排水等の利用	Mバマ、及びロガバエに加えて即小生 区位で休用。	3.0	0.40			
	1.2	1 1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70			
		2	科が利用ンステム等人の有無 雑排水等利用システム導入の有無		3.0			-	
	ᆂᆓᄱ					0.30		-	4.6
2			原の使用量削減 5円景の削減	鉄骨強度F325以上、免振及びPCa等を採用。	4.6 5.0	0.60		-	4.6
			<u>使用量の削減</u> 建築躯体等の継続使用	以 月194度F040以上、元派及UPUB守ど休用。	5.0 3.0	0.10			
			************************************	高炉セメントB種の採用	5.0	0.20	-	_	
			料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床シート(トイレ)、磁器質タイル(エントランス)、岩綿吸音板	5.0	0.20			
				(オフィス)に採用					
			丁能な森林から産出された木材 ・ 下が出て、	持続可能な森林から算出された木材を50%以上使用	5.0	0.10		-	
			<u> 万再利用可能性向上への取組み</u>	LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.20		-	0.0
3			有材料の使用回避	ち実施所も会またい連せも4番箱の しゼロ	3.9	0.20	-	-	3.9
	3.1 有害物質を含まない材料の使用 3.2 フロン・ハロンの回避			有害物質を含まない建材を4種類以上採用	5.0	0.30		-	
	3.2				3.5	0.70		-	
		1	消火剤	A種押出法ポリスチレンフォーム断熱材(ODP=0、GWP=3)を採用。	4.0	0.50		-	
		3	発泡剤(断熱材等) 冷媒	ハ雪コエロルス小フハテレノハーム断惑や(UDP-U、GWP=3)を採用。	4.0 3.0	0.50 0.50		-	
I D2	Mr tile 4	ー 3 外環境			5.0	0.30		-	3.5
			! への配慮	LCCO2排出率=83%	3.6	0.33		-	3.6
_		環境への		<i>"</i>	3.5	0.33		-	3.5
_ [5. 杂防止	排出基準より大幅に抑制	4.0	0.25	-	-	
			環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
			ンフラへの負荷抑制		4.0	0.25		-	
		1	雨水排水負荷低減	指導された規模以上の流出抑制対策を実施	4.0	0.25		-	
		2	污水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
		3	交通負荷抑制	駐車場及び荷捌き用車両の駐車施設を確保。仮想敷地内に待機ス へ-スを設置し、送迎パスルートの計画有り。	5.0	0.25		-	
		4	 廃棄物処理負荷抑制	室内にごみの分別容器を設置する	4.0	0.25			
3	国初耳	<u>⁴</u> 環境へ(上: ハーニン/ シノノ / バロ mu C IX P 7 *0	3.6	0.23	-	-	3.6
١			グ配慮 振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	_	0.0
	0.1	1	版到 · 忠夫の 加工		-	-			
		2	振動			_			
		3	悪臭		3.0	1.00		-	
	0.0					1.00		-	
	3.2	<u>風害、</u>	砂塵、日照阻害の抑制 風害の抑制	一部に立地といとのうころない	3.7 4.0	0.40 0.70		-	
		2	砂塵の抑制	一部に立地より上のランクあり	4.0	0.70		-	
		3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
	2.2				5.0	0.30			
	3.3	光害の		 周辺環境に応じた時刻別運用計画(ソーラータイマーによる照明制御)、		0.20	•		
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周辺環境に応じた時刻別連用計画(プラブディマーによる照明制御)、 広告物照明を行っていない	5.0	0.70	•	-	
					1			í	
		2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	ルーバーに依り直射日光を遮り、ガラス角度に依る反射光の発生低減。	5.0	0.30			